

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス ポニーナ東船橋

支援プログラム

作成日

2026年

1月

20日

法人（事業所）理念		株式会社Reafの想い R:rehabilitation（リハビリテーション）e:enjoy（エンジョイ）a:approach（アプローチ）f:family（ファミリー） 4つの理念を基に、地域コミュニティに寄り添いながら、1人ひとりの児童の個性を引き出す療育支援を目指します。					
支援方針		5領域を含めた総合的な支援を行い、日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、児童が身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を行います。					
営業時間（平日）		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり
営業時間（学校休業日等）		9時	0分	18時	0分		
		支援内容（【児童発達支援】：児童発達支援のみ 【放課後等デイサービス】：放課後等デイサービスのみ 無印：児発・放デイ共通）					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行います。その際、意思表示が困難である児童の障害の特性及び発達過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行います。 日常生活や社会生活を滞りなく営めるよう、それぞれの児童に適した身体的、精神的、社会的支援を行います。 生活環境を整える生活の中で、様々な遊びを通して基本的な生活環境を整えていきます。また、障害の特性に配慮した形で時間や空間を提供していきます。 【児童発達支援】基本的な生活スキルの獲得の為、身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援していきます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と動作の基本的技能の向上、日常生活に必要な姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ります。 人が保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援していきます。 感覚の特性への対応感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する調整を行います。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の活用視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行います。 知覚から行動への認知過程の発達環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援していきます。 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成物の機能や属性、形、色、音、音の変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援していきます。 数量、形、大きさ、重さ、色の違い等の理解のための支援を行います。 行動障害への予防及び対応感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。 					
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 読み書き能力の向上のための支援発達障害の児童など、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。 コミュニケーション能力向上の為の各種文字・記号、絵カードの活用することで、意思の伝達が円滑にできるよう支援していきます。 【児童発達支援】言語の形成と活用具体的な事象や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。 【放課後等デイサービス】人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得について、個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、コミュニケーション能力の向上の為の支援を行います。 					
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 模倣行動の支援遊び等を通じて、周囲の人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の構築ができるように支援していきます。 1人遊びから協同遊びへの支援周囲を広げていきます。周囲に児童がいても無関心である1人遊びの状態から並行遊びを行い、職員が介入して行う連合的な遊び、ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達に繋げていけるように支援していきます。 集団生活における手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援していきます。 【放課後等デイサービス】自己の理解と気持ちをコントロールする為に、職員を介して自分の「できること」と「できないこと」を把握し、行動の特徴を理解するとともに、気持ちのコントロールが調整できるように支援していきます。 【放課後等デイサービス】アタッチメント（愛着行動）の形成、人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成する為の支援を行います。 					
家族支援	各家庭の保護者に対し、定期的な情報共有及び「家族支援加算」の取得、児童を居宅等へ送迎する際、保護者とのヒアリングを行いながら、家族支援を行います。				移行支援	定期的に関係機関（学校・保育所等）と連携し、児童にとって生活する場所や環境が変化した後で、少しでも精神的な負荷が軽減された状態で快適に過ごすことができるように支援していきます。	
地域支援・地域連携	定期的な幼稚園・保育所（園）・学校・相談支援事業所・他の障害児通所支援事業所・市町村と連携図っていきます。				職員の質の向上	強度行動障害支援者養成研修、児童発達支援管理責任者研修等の各種研修、保育士試験を積極的に受講・受験することで職員の質の向上を図ります。	
主な行事等	祝日・長期休み期間：クッキング（調理療育）・お買い物・公園等の公共施設・屋内施設へのお出掛け等、各種イベントあり						